

**◎きめ細かな水管理で****高温・少雨を乗り切りましょう！！****間断灌水の徹底と早期落水防止**

オールやまがた米づくり日本一運動本部

本年は、出穂が早く、さらに、連日かなりの高温が続いていることから、きめ細かな水管理を徹底して胴割粒や白未熟粒の発生を防止しましょう。

また、斑点米カメムシ類が多くなっています。2回の基本防除を徹底しましょう。

**きめ細かな水管理の徹底**

- 1 猛暑条件下では、茎葉からの蒸散量が増加するので、水分を補給しましょう。また、根の機能低下が著しいので、よりこまめな間断灌水により根の機能維持を図りましょう。イネの葉が巻いている状態になると減収や品質低下が大きくなるので、十分に注意しましょう。
- 2 根の機能低下と呼吸作用の増加を抑制するため、冷たい水との入れ替えや田面からの気化熱を利用した、稲群落内の地・気温の低下に努めましょう。
- 3 出穂開花期以降の干ばつは、不稔粒の増加や出竦みの原因となるので、少なくとも出穂後1～3日、出穂後10～15日頃、出穂後20～25日頃の灌水（走り水）に努めましょう。
- 4 白乾土壌状態のイネに対して急な湛水を行うと「青枯れ症状」になり易いので、降雨等で用水が確保できた場合は、「走り水」を行い適度の土壌水分にして、間断灌水を行いましょ。
- 5 用水事情が悪化すれば溜め池や沢水がかりの水田では、用水量と照らして全体水田を賄う水量を見極め、地域で話し合っ「番水」などの対策を講じましょ。
- 6 さらに、胴割粒等の発生による品質低下を防ぐため、早期落水しないで、出穂後30日間は土壌水分を確保しましょ。
- 7 高温条件下では、登熟が急激に進み、刈取適期が早まるので、刈り遅れないよう十分注意し、準備体制を整えましょ。

**斑点米カメムシ類防除の徹底**

斑点米カメムシ類の発生は、平年より多く、7月23日に注意報第2号が発表されました。薬剤による防除は、出穂状況を確認し、穂揃期及び穂揃期7～10日後の2回の基本防除を徹底しましょ。

**STOP農作業事故、熱中症に注意！**

～体調管理に十分留意し、高温に関する農作物の栽培管理を徹底しましょ！～

## 高温緊急対策（果樹）第2号

# しっかりと、高温に対応して 人も果実も、猛暑を乗り越えよう！

### 1 高温が続いています！

- 7月31日に山形地方气象台から発表された「少雨と長期間の高温に関する山形県気象情報（第1号）」によると、8月に入って2週間程度は、気温が高く、降水量が少ない状態が続く見込みである。
- 農作業は、こまめに水分補給しながら、涼しい朝夕の時間帯に行く。



りんご「つがる」の日焼け果

### 2 果実の生育は、前年より3日程度早い！

- りんご「つがる」は、前年より3日程度進んでおり、収穫は早いところで、8月17日頃からと見込まれる。
- もも「あかつき」の収穫はほぼ終了し、中生種「まどか」、「いけだ」等の収穫が始まっている。全般的に小玉傾向である。収穫遅れによる軟果の発生がみられるので、適期収穫に努める。



収穫前の「いけだ」

### 3 果実肥大のために、かん水を行いましょう！

- りんごや西洋なし、もも（晩生種）等は果実肥大が旺盛な時期にあたるので、土壌の乾き具合を見ながら、かん水を行う。（10a当たり20t目安）

### 4 葉摘み等の着色管理は軽めに、早めに行いましょう！

～日焼け果の発生に注意！猛暑日、早朝は避ける！～

葉摘み前



葉摘み後



☆今年の気象状況と着色への影響

- ・ 8月前半は高温の予想
- ・ 高温時は着色が進みにくい。
- ・ 生育は前年より4～5日程度進んでいる。

☆着色管理のポイント

- ・ 葉摘みは軽めに、早めに。
- ・ 果実の温度が上がる10時頃からは行う。

## STOP 農作業事故、熱中症に注意

～体調管理に十分留意し、高温に関する農作物の栽培管理を徹底しましょう！～

山形県農林水産部農業技術環境課

**高温緊急対策（畜産）第2号**

家畜の体力が低下しています。  
暑熱対策を徹底しましょう！



高温の日が続き、暑熱による家畜の死亡事故が発生しています。乳用牛や肉用牛では7月後半から特に増加しています。家畜の事故や乳量などの生産性が低下するのを防ぐため、畜舎環境と飼養管理面の暑熱対策を徹底しましょう。

**舎内の気温上昇を抑えましょう！**  
**（畜舎環境面の対策）**

- ・ 畜舎の窓、戸、カーテン等を開放して風通しを良くする。
- ・ 寒冷紗、すだれ、防暑カーテン等で直射日光を遮る。  
（風の流れを妨げないように、畜舎構造を考慮し取り付ける）
- ・ 扇風機等は、風が家畜の体に直接あたるように適切に配置する。  
（羽根等もきれい清掃し粉塵を取り除く）
- ・ 屋根への散水や石灰の塗布を行う。  
（ふく射熱による舎内温度の上昇を抑える）

**適切な管理に努めましょう！**  
**（飼養管理面の対策）**

- ・ 家畜に異常がないかこまめに観察する。
- ・ 密飼いを避け、適正な飼育密度を確保する。  
（家畜の放熱によるストレスを抑制する）
- ・ 清潔で冷たい水を十分に与える。  
（給水施設の清掃・点検を徹底する）
- ・ 早朝と日没後の涼しい時間帯に消化性の高い良質な飼料を給与する。  
（必要に応じビタミンやミネラルで栄養補給する）

**★対策を組み合わせ効果を高めましょう！**

（問合せ先）

農林水産部畜産振興課

各総合支庁農業振興課・各農業技術普及課・家畜保健衛生課